

山梨県支部

山梨県における6次産業化への取組みに関する調査研究

本調査研究は、山梨県における6次産業化の現状を踏まえて、事業者の事業展開の在り方や支援の在り方について提言を行うことを目的として、社団法人中小企業診断協会山梨県支部が、山梨県における「6次産業化サポートセンター」である山梨県中小企業団体中央会の協力を得て、当支部会員4名による調査研究委員会を組織して実施した。

「第1章 調査研究の枠組み」では、調査研究の背景と目的、調査研究の実施方法及び対象について記載している。本調査研究では、農林漁業者による6次産業化に限らず、2次・3次産業者による農林漁業への進出、地域内における農商工連携についても、広く6次産業化ととらえることとした。いずれの事業形態であっても、1事業者もしくは連携した複数事業者が1次産業から3次産業まで展開しており、いずれも同様に地域経済の活性化につながると考えられるためである。

「第2章 6次産業化推進のための施策・取組み」では、6次産業化推進のための施策・取組みとして、国および山梨県内における取組みについて整理している。

「第3章 山梨県における農林漁業者による6次産業化の取組みの現状と課題」では、山梨県における農林漁業者による6次産業化の取組み事例として、4事例を取り上げ、農林漁業者による6次産業化の成果と課題について、考察を行った。

「第4章 山梨県における2次・3次産業者による6次産業化の取組みの現状と課題」では、山梨県における2次・3次産業者による6次産業化の取組み事例として、4事例を取り上げ、2次・3次産業者による6次産業化の特徴と成功要因、課題について、考察を行った。

「第5章 山梨県における地域内で連携する6次産業化の取組みの現状と課題」では、地域内で連携する6次産業化の取組み事例として、北杜市における行政と事業者の取組み事例を取り上げ、地域内で連携する6次産業化の成功要因、課題について、考察を行った。

「第6章 山梨県における6次産業化推進への提言」では、以上の内容を踏まえ、事業者の取組みの在り方、6次産業化のための支援の在り方について、提言を試みた。事業者の取組みの在り方としては、6次産業化の一般的なメリット・目的、類型別の6次産業化の一般的な特徴を整理した上で、経営戦略としての6次産業化、事業者別にみる望ましい6次産業化の類型、不足する経営資源の補完の在り方、市場ニーズを踏まえた事業展開、地域に根ざした事業展開について、検討した。また、6次産業化のための支援の在り方としては、支援対象が限定されていることの問題、支援決定前の入口における事業見極めの重要性、支援機関の連携の必要性、行政組織における連携の必要性、長期的な視点からの支援の必要性、マッチング支援の重要性、地域活性化の観点からの取組みの必要性、6次産業化法における総合化事業計画にかかる支援の在り方について、検討した。